

熊本大学医学部附属病院 病理部 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

病理専門医となるために必要な実践病理学の基本を学ぶことが目的で、その実績から死体解剖資格認定証明書を取得する事ができる(5体以上の解剖補助とともに15体以上につき自ら執刀して解剖を行った経験を有することが必要)。4年間の研修期間で診断病理、病理解剖(さらに自ら執刀25体の病理解剖の経験を加える)の研鑽を積み、日本病理学会認定病理専門医の試験に合格すれば、病理専門医の資格を取得できる。日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医の試験に合格すれば、細胞診専門医の資格も取得できる。大学院医学教育部(機能病理学、細胞病理学、分子病理学)の大学院生としてのコースを選んだ場合は担当教授と相談しながら、本人の意思を尊重し、個別な研修プログラムに従って行う。

2. 研修目標

【一般目標】

日本病理学会認定病理専門医研修要綱に準じて研修する。

- a. 卒前および卒後初期臨床の教育において習得した各種疾患の病理、ならびに病理学と関連する臨床的事項について基本的知識をさらに充実させること。
- b. 病態を正確に認識し、かつこれを表現する能力を有し、希でない症例については的確な診断を下し、さらに疾病診断や予後判定と共に、治療方針や研究方針について病理学の立場から臨床医に助言を行い、必要に応じて批判を行いうること。
- c. 病理医に必要な基本的諸技能を習得していること。
- d. 患者およびその家族を尊重し、他の医師および関係者と協調して医療にあたる基本的態度を有すること。
- e. 検討会、セミナーなどに積極的に参加し、自己学習の習慣を身につけ、常に研究心を失わぬこと。
- f. 病理検査機器や設備についても知識と関心をもち、病理解剖室や病理検査室の管理運営に努めること。
- g. 病理学の実践を通して他の医療スタッフとの協調性を身につけ、医療の質的向上ならびに精度管理に貢献出来ること。

【行動目標】

基本的には病理専門医研修手帳の研修項目に準じて行う。

- a. 生検、手術材料の病理診断を自ら行う。
- b. 迅速診断を自ら行う。
- c. 細胞診を自ら判定し、細胞検査士との情報交換が出来る。
- d. 病理解剖を自ら行う肉眼診断、組織所見を総合し、正式な病理解剖診断を下し、記録して臨床側に報告する事が出来る。また、病理解剖記録などの資料を整理、保管し日本病理剖検輯報に登録出来る。
- e. 電子顕微鏡、免疫染色、分子病理学的手法などの特殊技能や症例報告が出来る。
- f. 病理部の管理・運営を補助することが出来る。

3. 研修スケジュール

3年目～凡そ10年目

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A	大学病院	関連施設	大学病院			関連施設		
B	大学病院	関連施設		大学病院		関連施設		
C	大学病院	大学院				関連施設		
D	大学院				留学・関連施設		留学・大学病院	

4. 評価

日本病理学会認定病理医のための研修要綱に準じて作成された病理専門医研修手帳の評価項目について、研修医が評価したものを、指導医が随時点検し、研修医の到達目標の達成を援助する。終了時には自己評価結果はプログラム委員会の点検を受ける。

5. 募集人員 年間3名程度

6. 実施責任者 熊本大附属病院病理部部長（猪山賢一）

7. 指導責任者

熊本大学医学部附属病院病理部および大学院生命科学研究部（機能病理学、細胞病理学、分子病理学）の病理専門医研修指導医、研修協力病院病理部の各病理専門医研修指導医（熊本医療センター、済生会熊本病院、熊本中央病院、熊本市民病院、荒尾市民病院、熊本労災病院）

8. 関連施設、学会認定状況

- 関連施設：熊本医療センター、済生会熊本病院、熊本中央病院、熊本市民病院、荒尾市民病院、熊本労災病院
- 学会認定状況：日本病理学会研修認定施設（A）、日本臨床細胞学会認定施設

9. その他

- 多臓器にわたり豊富な外科病理診断症例（9,000 症例/年間）を経験出来る。特に迅速病理診断（900 症例/年間）、臃腫瘍、生体肝移植の拒絶の評価、細胞診（8,000 症例/年間）では豊富な症例の研鑽が可能である。
- 後期研修プログラム終了後は附属病院病理部および関連病院、あるいは生命科学研究部（機能病理学、細胞病理学、分子病理学）において、上記内容を引き続き研鑽し、病理専門医として地域医療への貢献、あるいは大学院医学教育部の大学院への進学、国内外留学や教員ないし研究者としての道が開かれている。研修医と指導医が随時相談しながら進路指導を行う。
- 教育に関して
症例検討会（随時）、細胞診検討会（毎日）
臨床・病理症例合同カンファレンス（2回/月）
CPC（随時）、抄読会（毎週）、
九州、沖縄スライドカンファレンス（6回/年）、日本病理学会、日本病理アカデミー（IAP）主催のセミナー、臓器別診断セミナーへの参加

10. 連絡先

熊本大学医学部附属病院病理部部長（猪山賢一）

TEL:096-373-7092、Mail: iyama@kumamoto-u.ac.jp